

## 第5回水・緑と観光を繋ぐ回廊計画推進協議会 会議録

1 日 時 平成29年3月27日（金曜日）  
午後3時00分から午後4時10分まで

2 場 所 瑞穂町民会館ホール

3 出席者 別紙のとおり

4 内 容

(1) 平成28年度における事業の取組状況について

(2) 平成29年度における事業の予算措置状況について

5 配布資料

資料1 水・緑と観光を繋ぐ回廊計画の取組状況について

資料2 みずほ☆きらめき回廊 平成28年度の取組み

資料3 水・緑と観光を繋ぐ回廊計画 平成29年度における予算措置状況について  
回廊ルート整備部会資料

狭山池上流部整備部会資料

観光部会資料

6 会議内容

(1) 平成28年度における事業の取組状況について

事務局から資料1、2及びパワーポイントを使用して説明及び各検討部会長より平成28年度活動報告があった。

(質疑・意見)

(田中都市計画審議会会長) 2点伺いたい。1点目は、町道440号線で平成26年度に整備された箇所はインターロッキングであったと記憶しているが、今年度整備された箇所はインターロッキングに似せた舗装ということか。費用の違いはあるか。また、今年度整備された箇所には「きらめき回廊」のシールがないがなぜか。2点目は、「きらめき回廊」という言葉は浸透してきているが、どこを言っているのかがわからない。パンフレット等で示すことはできないか。

(森田建設課長) 1点目についてお答えする。当初より、アスファルト舗装に型押ししてインターロッキング調に仕上げる舗装をしている。費用面ではインターロッキングとインターロッキング調の舗装でほぼ変わらない。また、「きらめき回廊」のシールについては、ホームページリニューアルの関係でシールに記載されているQRコードを読み取ってもホームページにとばない不具合がでているため取り付けが遅れている。

(村山企画課長) 2点目についてお答えする。現在ルート部会で皆さんに歩いていただくルートを検討している段階である。そのため皆さんに歩いていただくルートの中で決定したルートとしてお示しできないということをご理解いただきたい。

(石塚町長) ルートが確定するまではどこにも示せないということか。

(村山企画課長) 瑞穂町を訪れる方に目的地まで分かりやすく行っていただきたいと考えている。そのため、案内サインについては観光部会で随時検討をしている。ただ、ここが回廊ルートだからここを歩いてくださいとお示しするまでは至っていない。

(石塚町長) ルートはいつ頃確定するのか。

(森田建設課長) 29年度早々に確定したいと考えている。

(荻野商工会会長) 4つの基本ルートそれぞれに親しみやすいルート名を付けた方が住民にわかりやすいのではないかと考える。

(森田建設課長) ルート部会で検討し、親しみやすいルート名が付けられれば付けていきたい。

(中沢ルート整備部会長) 瑞穂町は23区内や神奈川、千葉、埼玉県からサイクリングやトレッキングを訪れる人が多い場所で、非常に可能性がある場所だと感じている。実際に自分もボランティア団体で子どもや女性、お年寄りを連れて回廊基本ルートを巡っている。その中でやはり、親しみやすい短い名称があるとより浸透していくのかなと感じた。せっかく良い愛称・ロゴマークがあるので、もっと広い範囲で利用申請が来るような形にしたいと考えている。それにはルート部会と観光部会が連携して、29年度は現場視察や会議を通じて意見交換をする必要があると感じている。

(上野農業委員会会長) 東京都の西部公園緑地事務所で計画している野山北・六道山公園の計画等はあるのか伺いたい。

(森田建設課長) 現在のところ西部公園緑地事務所から平成29年度の整備予定は来ていない。

(上野農業委員会会長) 北狭山谷の民地を東京都が買収したと聞いているが、駐車場等の整備計画はないのか。埼玉県と連携し、緑の森博物館までの緑道を整備し、狭山丘陵を一回りできるような計画を見据えながら東京都とも連携して事業を進めていただきたい。

## (2) 平成28年度における事業の予算措置状況について

事務局から資料3を使用して説明があった。

### (質疑・意見)

(久保田文化財保護審議会会長) モニュメントについて、長く風雨に耐えられるよう工夫をしていると思うが、作られている材質はどのようなものか。

(田中都市整備部長) カワセミ、ホンドタヌキについてはブロンズである。また蛇喰い次右衛門は御影石で作られており、それぞれ物によって違う材質である。

(石塚町長) モニュメントについては、少ない予算で長持ちするものが基本であると考えている。また、伝承について今の時代は町が伝えていく姿勢を見せる必要があると考えている。

(田中都市計画審議会会長) 町長の年頭のあいさつの中で、みずほ☆きらめき回廊の推進とあり、狭山池上流部の整備が触れられていた。一番遅れているのが狭山池上流部整備だと感じている。29年度事業に不耕作地解消事業とあるが、どのようなものなのか。また、この計画は平成32年度までに総事業費28億6000万程度の費用が掛かる見込みであったが、平成28年度までにどの程度費用がかかっているのか。

(山内産業課長) 平成29年度の狭山池上流部の整備内容についてお答えする。お配りした図面の黄色く塗られている部分について不耕作地となっていたが、地主との話がまとまり、四季折々の花が楽しめるような花畑を整備する予定である。ずっと不耕作地であったため、すぐに花が咲くかは不明だが、平成29年度は試験的に花植えを行う。また、平成28年度に農業委員会の協力で実施した「親子で体験小麦まき」を平成29年度も継続して行う。

(村山企画課長) 全体の事業費について、当初計画にあった新設道路の用地費や整備費がなくなったことや、インターロッキングをカラー舗装に切り替えたこと、狭山池上流部を農業委員会の皆さまから御指導いただきながら当初計画とは違った実現可能な形で進めていることなど、各部会や職員で検討して前向きに金額を見ながら計画を進めている。

(森田建設課長) 平成28年度までにさやま花多来里の郷の整備費として、用地費に1億200万円程度、工事費に1億3300万程度かかっており、その中でも防衛省の補助金や東京都の補助金を活用しながら整備を進めている。

(村山企画課長) ルート整備については、現在のところ3つの路線の整備を行っている。合計の工事費は3900万円程度であり、補助金額は2850万円となっている。

(吉岡狭山池上流部整備部会長) 狭山池上流部は農振地域が多い中で、地権者への意向調査や先進地視察を繰り返し行い、ゾーニング等やっとここまで進めることができた。多くの方に花を見に来たり、生産目的で来たりしていただくために、道路整備をまず先にスピード感をもって行っていただきたい。

(中沢ルート整備部会長) ルートに関しては、絶対に事故があってはいけないと考えている。色々な方の立場を考えながら丁寧に踏査していく必要があるためどうしても時間がかかってしまう。観光部会と連携して、実際に子どもやお年寄りと一緒に歩いてみる機会を作り、その中でデータを取り、より精度を上げていくルートを作る必要がある。

### (3) その他

(村山企画課長) 本日は皆さまから前向きな意見をたくさんいただきました。実際に観光部会では案内サインを設置するにあたり、現地を歩いて現場を確認しながら検討を進めた。また、ルート部会についても現地視察を行いながらルートを設定していただいた。特に狭山池上流部については、農業振興地域であり今までなかなか進まなかったところを建設的に農業委員会の意見を伺いながら進めることができている。これからは目に見える形で各町民の皆さまにお示しできる「きらめき回廊」にしていきたいと考えている。予算についても、質を下げ、費用を下げていくのではなく、知恵を出し合い、社会情勢を見ながら実現可能なものにした結果、このような額として示したものである。皆さまにも予算を認めていただきながら前向きに進めていきたいと考えているので御協力願いたい。

午後4時10分終了